

参考ビデオクリップ 要点解説

膵頭十二指腸切除術 胆道再建

- ・空腸吻合壁は腸間膜対側を切開し、胆管径より小さめの切開をおく。
- ・空腸吻合部が広がりすぎないように、切開部両端に結紮糸を置くことも工夫の一つ。
- ・吻合には5-0吸収性モノフィラメント糸を用いる。
- ・吻合の両端に、外→内、内→外、の順で運針し、吻合部左側のみ結紮点が外側になるように結紮し支持糸とし、右側（対側）は結紮せずフリーにする。
- ・連続吻合は、空腸・胆管ともに粘膜を確実にひろい、全層縫合する。
- ・必要に応じて、胆管ステント（5FrRTBD チューブなど）を留置する。